

平成26年10月31日(金) 第23号(107) 北九州市立折尾東小学校



学校だより

おりひがっこ

〒 807-0824

八幡西区光明1-2-1

TEL 602-2621 奥田 淳一

子どもたち一人一人が笑顔ですごく学校をめざして



1 平成26年度 全国学力・学習状況調査の結果の報告と今後の取組について

平成26年4月22日(火)に、文部科学省による「全国学力・学習状況調査」が行われました。本年度の調査結果の分析と今後の取組についてまとめましたので、お知らせいたします。本校の現状を知っていただくとともに、ご家庭での取組の参考にさせていただきたいと思います。

また、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面です。学校では、他の教科・領域も含め、総合的に学力向上を目指していますが、この調査を参考として、本校の子ども達の学力が伸びていくように、学校はもちろんですが、ご家庭とも協働してまいりたいと思います。どうぞ、よろしくお願いいたします。

① 学力調査結果と分析

カテゴリー	全国平均との比較	学力調査の分析(傾向や特徴)
国語A	全国平均正答率を下回っている。	○良い点:漢字の読み書きは、基礎ができていた。 △課題点:話すこと、聞くことに関する問題に課題がある。聞く力などを育てていく必要がある。
国語B	全国平均正答率をやや下回っている。	○良い点:言語知識理解は、基礎ができていた。また、無解答の問題数が少なかった。 △課題点:自分の考えを書く問題に課題があり、書くことを習慣化する必要がある。
算数A	全国平均正答率をやや下回っている。	○良い点:量の測定については、正しく求めることができていた。 △課題点:数量関係についての問題に課題がある。四則の混合した式の意味理解を定着させる必要がある。
算数B	全国平均正答率を下回っている。	○良い点:数量についての技能が高くなり、応用できるようになった。 △課題点:記述式の問題では無解答率が高く課題が見られた。筋道を立てて考え、考えたことを表現していく力を育てる必要がある。

② 学校における学習状況に関する調査結果と分析

- 校内では、話し合う活動が年々よく行われてきている。また、相手にうまく伝わるように話の組み立てを工夫している児童も年々増加傾向にある。それに伴って、自分の考えを他の人に説明したり、文章に書いたりすることが難しいと思っている児童の割合が減少してきた。

今後も引き続き、相手にうまく伝えることができる指導法の研究・改善を全職員で行っていく。

- 文章を書くことに抵抗感をもっている児童が多いため、授業の中などで、自分の考えを書く活動を位置付けるなど、書くことを授業に多く取り入れていく必要がある。

2 家庭生活習慣等に関する調査結果の概要

① 家庭学習習慣に関する調査結果と分析

- 毎日、読書をする児童の割合が全国や本市と比較しても高い。これは、朝の読書の時間や家庭学習での読書などが習慣化されているためだと考える。
- 学校が休みの日に勉強する児童の割合が年々減少してきている。逆に、全くしない児童の割合が増加してきている。家庭学習(宿題や自主学習)を毎日続けていく習慣をつけることが大切であると考えます。

② 生活習慣等に関する調査結果の分析

- 自分にはよいところがあると思っている児童の割合が増加し、全国や本市との差が縮まった。自分や友だちのよい言動を認め合う場の設定が継続して行われているためだと考える。
- 1日に2時間以上、テレビゲームをする児童の割合が増加し、全国や本市と比較しても差が大きい。家庭内でゲーム時間について約束することや、ゲーム時間を減らして勉強時間を増やす工夫をしていくことが必要である。

3 課題解決のための重点的な取組

① 学校で取り組むこと

- 朝自習の充実(国語・算数のアシストシート問題、視写、音読、読書など曜日を決めて実施)
- 授業の中などで、話す力・聞く力・伝え合う力を育む指導法の研究
- 授業の中などで、自分の考えを書く活動を位置付ける。

② 家庭で取り組んでいただきたいこと

- 毎日、学習する習慣をつける。(低学年15分、中学年30分、高学年45分)
小学生のうちにぜひ、身に付けてほしい習慣です。その間はテレビを消して、静かな環境にすることが大切です。終わったら、のびのびさせてあげてください。
- 内容は宿題と自由勉強・読書などを行う。
宿題は国語や算数などの基礎的な復習が中心です。繰り返しやることで、「わかる」から「できる」になります。一家そろってそれぞれが好きな本を読んだり、(大人⇄子ども)読み聞かせをし合ったりするなどの読書タイムもよいですね。
- 子どもががんばっていることを認め、ほめる。
ほめられることで子どものモチベーションは上がります。子どもをよく見てがんばったところを評価してあげてください。